そしゃく配慮食品の日本農林規格の一部を改正する件 新旧対照表 ○そしゃく配慮食品の日本農林規格(平成28年8月17日農林水産省告示第1568号)

(下線部分は改正部分)

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| 日本農林規格 JAS 1568: 2021 | そしゃく配慮食品の日本農林規格 |
| <u>そしゃく配慮食品</u> Easily Chewable and Swallowable Foods | |
| <u>1</u> <u>適用範囲</u> この規格は <u>, そしゃく配慮食品</u> のうち <u>, 容易</u> にかめる食品 <u>, 歯ぐき</u> でつぶせる食品 <u>, 舌</u> でつぶせる | <u>(適用の範囲)</u> 第1条 この規格は <u>、そしゃく配慮食品</u> のうち <u>、容易</u> にかめる食品 <u>、歯ぐき</u> でつぶせる食品 <u>、舌</u> でつ |

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求 事項を構成している。この引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

CODEX STAN 192 食品添加物に関する一般規格

食品及びかまなくてよい食品の品質について規定する。

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

(削る。)

3.1

そしゃく配慮食品

通常の食品に比してそしゃくに要する負担が小さい性状、固さその他の品質を備えた加工食品(乳 児用のものを除く。)

3.2

容易にかめる食品

そしゃく配慮食品のうち、その固さが、容易にかみ切り、かみ砕き又はすりつぶせる程度のもの (適度なかみごたえを有するものに限る。)

3.3

歯ぐきでつぶせる食品

そしゃく配慮食品のうち、その固さが、容易にかめる食品と舌でつぶせる食品の中間程度のもの

3.4

舌でつぶせる食品

そしゃく配慮食品のうち、その固さが、舌と口蓋の間で押しつぶせる程度のもの

3.5

ぶせる食品及びかまなくてよい食品に適用する。

(新設)

(定義)

第2条 この規格において、次の表の左欄に掲げる用語の定義は、それぞれ同表の右欄に掲げるとお りとする。

| <u> </u> | |
|---|---|
| 用語 | <u>定</u> |
| そしゃく配慮食品 | 通常の食品に比してそしゃくに要する負担が小さい性状、固さその他の |
| | |
| | |
| | |
| ☆日)z ♪ ♪ フ ▲ □ | フェスの最後日のこれ。フの田とお、皮目による田の、よる時も中は |
| 容易にかめる食品 | <u>そしゃく配慮食品のうち、その固さが、容易にかみ切り、かみ砕き又は</u> |
| | すりつぶせる程度のもの(適度なかみごたえを有するものに限る。)を |
| | いう。 |
| | |
| 歯ぐきでつぶせる食品 | そしゃく配慮食品のうち、その固さが、容易にかめる食品と舌でつぶせ |
| E C C S C S X III | る食品の中間程度のものをいう。 |
| | 公民印の中间住及のものをいう。 |
| | |
| <u>舌でつぶせる食品</u> | <u>そしゃく配慮食品のうち、その固さが、舌と口蓋の間で押しつぶせる程</u> |
| | 度のものをいう。 |
| | |
| かまなくてよい食品 | そしゃく配慮食品のうち、その固さが、かまずに飲み込める程度のもの |
| 1 0 0 0 0 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | |

かまなくてよい食品

そしゃく配慮食品のうち、その固さが、かまずに飲み込める程度のもの

4 品質

4.1 容易にかめる食品

容易にかめる食品の品質は、表1の品質基準に適合していなければならない。

表1-容易にかめる食品の品質基準

| 技食時の内容物の 技による。 a) 一般に飲食に供される食品としての外観及び食味を有していること。 技による。 b) 付着性及び凝集性が適度であること。 技による。 a) 内容物のうち、最も固いものについて、容易にかみ切り、かみ砕き 又はすりつぶせる程度であること (適度なかみごたえを有するものに限る。) a) の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品 (一般消費者に販売される形態となっているもの以外のものをいう。以下同じ。) の場合にあっては、この限りでない。 i) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレット その他の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上、一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上、一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 交による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合していること。 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合していること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 i) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 a) 円・アンレット その他の一般消費者の目につきやすいものに表示する方法。 a) イン・アンレット その他の一般消費者では、またりに対している。 b) イン・アンレット その他の一般消費者がよりに対している。 b) 使用を対している。 c) イン・アンレット その他の一般消費者がよりに対している。 c) イン・アンレット その他の一般消費者がよりに応じている。 c) 中にいるでは、 を) c) イン・アンレット その他の一般消費者がよりに応じている。 c) 中にいるでは、 を) c) イン・アンレット | 表1-容易にかめる食品の品質基準 | | | |
|--|------------------|---------------------|---|--|
| 性状 | 区分 | <u>区分</u> <u>基準</u> | | |
| と。 | (摂食時の | 内容物の 次 | による。_ | |
| と。 | 削 性状 | <u>a)</u> | 一般に飲食に供される食品としての外観及び食味を有しているこ | |
| 摂食時の内容物の 次による。 | % | | と。 | |
| ■ 内容物のうち、最も固いものについて、容易にかみ切り、かみ砕き 又はすりつぶせる程度であること (適度なかみごたえを有するものに限る。)。 | | <u>b</u>) | b) 付着性及び凝集性が適度であること。 | |
| マはすりつぶせる程度であること (適度なかみごたえを有するものに限る。)。 b) | 摂食時の | 内容物の 次 | による。_ | |
| に限る。)。 b) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品(一般消費者に販売される形態となっているもの以外のものをいう。以下同じ。)の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレットその他の一般消費者の目につきやすいものに表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上、一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量表示量に適合していること。 添加物 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって、かつ、その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレットその他の一般消費者の目につきやすいものに | 固さ | <u>a)</u> | 内容物のうち <u>, 最も</u> 固いものについて <u>, 容易</u> にかみ切り <u>, かみ砕き</u> | |
| b) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品(一般消費者に販売される形態となっているもの以外のものをいう。以下同じ。)の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上、一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量 表示量に適合していること。 添加物 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって、かつ、その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | 又はすりつぶせる程度であること(適度なかみごたえを有するもの | |
| 方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品 (一般消費者に販売される形態となっているもの以外のものをいう。以下同じ。) の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上、一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量 表示量に適合していること。 添加物 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって、かつ、その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレットをの他の一般消費者の目につきやすいものに | | | に限る。)。 | |
| (一般消費者に販売される形態となっているもの以外のものをいう。以下同じ。)の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに表示する方法。 3) 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上、一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量表示量に適合していること。 添による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって、かつ、その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに | | <u>b</u>) | a)の規定に適合している旨の情報が <u>,一般</u> 消費者に次のいずれかの | |
| う。以下同じ。)の場合にあっては、この限りでない。 ① インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 ② 冊子、リーフレット 表示する方法。 ③ 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法。 4)製品に問合せ窓口を明記の上、一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量表示量に適合していること。 添加物 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって、かつ、その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 ① インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 ② 冊子、リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | 方法によって伝達されるものであること。ただし <u>,業務用</u> の製品 | |
| 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子, リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに表示する方法。 表示する方法。 3) 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上, 一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量 表示量に適合していること。 添加物 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって, かつ, その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され, かつ, その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が, 一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし,業務用の製品の場合にあっては,この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子, リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | (一般消費者に販売される形態となっているもの以外のものをい | |
| 2] 冊子, リーフレット | | | う。以下同じ。)の場合にあっては <u>、この</u> 限りでない。 | |
| 表示する方法。 3) 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上, 一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量 表示量に適合していること。 添加物 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって, かつ, その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され, かつ, その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が, 一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし, 業務用の製品の場合にあっては, この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子, リーフレットをの他の一般消費者の目につきやすいものに | | | 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 | |
| 3) 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上, 一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量 表示量に適合していること。 添加物 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって, かつ, その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され, かつ, その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が, 一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし,業務用の製品の場合にあっては,この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子, リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | 2) 冊子 <u>, リーフレット</u> その他の一般消費者の目につきやすいものに | |
| 4 製品に問合せ窓口を明記の上, 一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 内容量 表示量に適合していること。 添加物 | | | 表示する方法。 | |
| 技一般消費者に伝達する方法。 内容量 表示量に適合していること。 添加物 次による。 | | | <u>3</u> 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法 <u>。</u> | |
| 内容量 表示量に適合していること。 添加物 次による。 a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって, かつ, その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され, かつ, その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が, 一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし,業務用の製品の場合にあっては,この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子, リーフレット その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | 4) 製品に問合せ窓口を明記の上,一般消費者からの求めに応じて当 | |
| 添加物 <u>次による。</u> a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって,かつ,その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され,かつ,その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が,一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし,業務用の製品の場合にあっては,この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子,リーフレットその他の一般消費者の目につきやすいものに | | | 該一般消費者に伝達する方法 <u>。</u> | |
| a) CODEX STAN 192 3.2の規定に適合するものであって,かつ,その使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレットその他の一般消費者の目につきやすいものに | 内容量 | 表 | 表示量に適合していること。 | |
| 使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレットその他の一般消費者の目につきやすいものに | 添加物 | <u>次</u> | <u>による。</u> | |
| b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。 c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし、業務用の製品の場合にあっては、この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子、リーフレットその他の一般消費者の目につきやすいものに | | <u>a)</u> | CODEX STAN 192 3.2 の規定に適合するものであって, かつ, その | |
| あること。 c) <u>a)</u> の規定に適合している旨の情報が <u>,一般</u> 消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし <u>,業務用</u> の製品の場合にあっては <u>,この</u> 限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子 <u>,リーフレット</u> その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | 使用条件は同規格3.3の規定に適合していること。 | |
| あること。 c) <u>a)</u> の規定に適合している旨の情報が <u>,一般</u> 消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし <u>,業務用</u> の製品の場合にあっては <u>,この</u> 限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子 <u>,リーフレット</u> その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | | |
| あること。 c) <u>a)</u> の規定に適合している旨の情報が <u>,一般</u> 消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし <u>,業務用</u> の製品の場合にあっては <u>,この</u> 限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子 <u>,リーフレット</u> その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | | |
| c) a)の規定に適合している旨の情報が,一般消費者に次のいずれかの方法によって伝達されるものであること。ただし,業務用の製品の場合にあっては,この限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子,リーフレットその他の一般消費者の目につきやすいものに | | <u>b)</u> | 使用量が正確に記録され<u>,かつ,その</u>記録が保管されているもので | |
| 方法によって伝達されるものであること。ただし <u>、業務用</u> の製品の場合にあっては <u>、この</u> 限りでない。 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子 <u>,リーフレット</u> その他の一般消費者の目につきやすいものに | | | あること。 | |
| 場合にあっては <u>、この</u> 限りでない。 <u>1)</u> インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法 <u>。</u> <u>2)</u> 冊子 <u>, リーフレット</u> その他の一般消費者の目につきやすいものに | | <u>c)</u> | <u>a</u>)の規定に適合している旨の情報が <u>,一般</u> 消費者に次のいずれかの | |
| 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 2) 冊子, リーフレット 2の他の一般消費者の目につきやすいものに | | | 方法によって伝達されるものであること。ただし <u>、業務用</u> の製品の | |
| | | | 場合にあっては <u>、この</u> 限りでない。 | |
| | | | 1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。 | |
| 表示する方法。_ | | | 21 冊子 <u>, リーフレット</u> その他の一般消費者の目につきやすいものに | |
| | | | 表示する方法。 | |

をいう。

(容易にかめる食品の規格)

第3条 容易にかめる食品の規格は、次のとおりとする。

| | → ∧ | | |
|-----|----------------|---|--------------|
| | 区 分 | 基 | |
| 品 質 | 摂食時の内容物の 性状 | 1 一般に飲食に供される食品としての外観及び食味を有している | z ~ |
| 旦 | 111/ | 1 水に飲食に併される食品としての作動及の食外を有している と。 | ے لا |
| | | 2 付着性及び凝集性が適度であること。 | |
| | 摂食時の内容物の | | |
| | 固さ | 1 内容物のうち、最も固いものについて、容易にかみ切り、かみる | |
| | | 又はすりつぶせる程度であること(適度なかみごたえを有するもの | のに |
| | | 限る。)。 | |
| | | 2 1の規定に適合している旨の情報が <u>、一般</u> 消費者に次のいずれた。 | |
| | | 方法により伝達されるものであること。ただし <u>業務用</u> の製品(- | |
| | | 消費者に販売される形態となっているもの以外のものをいう。以 ⁻ | 下同 |
| | | じ。)の場合にあっては <u>、この</u> 限りでない。 | |
| | | <u>(1)</u> インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法 | |
| | | (2) 冊子 <u>、リーフレット</u> その他の一般消費者の目につきやすい。 | もの |
| | | に表示する方法 | |
| | | (3) 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法 | |
| | | (4) 製品に問合せ窓口を明記の上 <u>、一般</u> 消費者からの求めに応り | J - (|
| | | 当該一般消費者に伝達する方法 | |
| | 内容量 | 表示量に適合していること。 | |
| | 添加物 | 1 同際古人会場典光機用及7744用/2/ (海機用人目の会り相枚系具人) | バウ |
| | | 1 国際連合食糧農業機関及び世界保健機関合同の食品規格委員会が かた金月活動物に関する 節間数 (CODEN STAN 100 1005 Pt. 7 200 | |
| | | <u>めた食品添加物に関する一般規格(CODEX STAN 192-1995, Rev. 7-200</u> | |
| | | 3.2の規定に適合するものであって、かつ、その使用条件は同規格の出党に済入していること | ن. ن |
| | | の規定に適合していること。 | n |
| | | 2 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているもの あること。 | りで |
| | | 3 1の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれた。 | ሕ <u>አ</u> መ |
| | | | |
| | | 方法により伝達されるものであること。ただし <u>、業務用</u> の製品の物 にあっては、この限りでない。 | 勿口' |
| | | (1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法 | |
| | | (2) 冊子、リーフレットその他の一般消費者の目につきやすい。 | もの |
| | | に表示する方法 | |

| | | 3) 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法。 4) 製品に問合せ窓口を明記の上 <u></u> 一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。 |
|-------|-----------|--|
| | 容器又は包装の状態 | 密封されており, かつ, 外観が良好であること。 |
| (削る。) | (削る。) | (削る。) |
| | (削る。) | (削る。) |
| | (削る。) | (削る。) |

4.2 歯ぐきでつぶせる食品

歯ぐきでつぶせる食品の品質は、表2の品質基準に適合していなければならない。

表2-歯ぐきでつぶせる食品の品質基準

| | 区分 | 基準 | |
|---|---------------|--|--|
| _ | 摂食時の内容物の | 表1の摂食時の内容物の性状の基準による。 | |
| - | ! 性状 | | |
| 6 | 。 摂食時の内容物の | 次による。 | |
| _ | 固さ | a) 内容物のうち <u>,最も</u> 固いものについて <u>,容易</u> にかめる食品と舌でつ | |
| | | ぶせる食品の中間程度であること。 | |

| | | (3) 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法 |
|---|----------|---|
| | | (4) 製品に問合せ窓口を明記の上 <u>、一般</u> 消費者からの求めに応じて |
| | | 当該一般消費者に伝達する方法 |
| | 容器又は包装の状 | 密封されており、かつ、外観が良好であること。 |
| | 態 | |
| 麦 | 表示事項 | 食品表示基準(平成27年内閣府令第10号)の規定に従うほか、次の事項 |
| 示 | | を表示してあること。 |
| | | <u>(1)</u> 容易にかめる旨 |
| | | (2) 食品表示基準別表第19の上欄に掲げる食品(当該食品の項の中 |
| | | 欄に掲げる表示事項に調理方法又は使用方法を含むものに限 |
| | | る。) 以外の食品にあっては、調理方法(調理しないもの(単に |
| | | 温めるものを含む。)以外のものに限る。) |
| | | (3) 業務用の製品にあっては、内容量又は固形量及び内容総量 |
| | 表示の方法 | 食品表示基準の規定に従うほか、容易にかめる旨、調理方法並びに内容 |
| | | 量又は固形量及び内容総量の表示は、次に規定する方法により行われて |
| | | <u>いること。</u> |
| | | <u>(1)</u> 容易にかめる旨 |
| | | 「容易にかめる」と表示すること。 |
| | | (2) 調理方法 |
| | | 食品の特性に応じて表示すること。 |
| | | (3) 内容量又は固形量及び内容総量 |
| | | 食品表示基準第3条第1項の表の内容量又は固形量及び内容総 |
| | | 量の項の下欄に定める表示の方法に従い表示すること。ただし、 |
| | | 食品表示基準別表第4の上欄に掲げる食品のうち、当該食品の項 |
| | | <u>の中欄に掲げる表示事項に内容量を含むものにあっては、同項の</u> |
| | | - 下欄に定める表示の方法に従い表示すること。 |
| | 表示の方式等 | 食品表示基準の規定に従うほか、容易にかめる旨、調理方法並びに内容 |
| | | 量又は固形量及び内容総量の表示は、容器又は包装の見やすい箇所(業 |
| | | 務用の製品の場合にあっては、容器若しくは包装の見やすい箇所又は送 |
| | | り状)に表示してあること。 |

(歯ぐきでつぶせる食品の規格)

第4条 歯ぐきでつぶせる食品の規格は、次のとおりとする。

| | 区 分 | 基 | 準 |
|---|----------|--|--------------|
| 品 | 摂食時の内容物の | 前条の規格の摂食時の内容物の性状の基準と | <u>同じ</u> 。 |
| 質 | 性状 | | |
| | 摂食時の内容物の | | |
| | 固さ | <u>1</u> 内容物のうち <u>、最も</u> 固いものについて <u>、</u> | 容易にかめる食品と舌でつ |
| | | ぶせる食品の中間程度であること。 | |

| | | b) 表1の摂食時の内容物の固さの b) の基準 <u>による</u> 。 |
|----|----------|---|
| | 内容量 | 表1 の内容量の基準 <u>による</u> 。 |
| | 添加物 | 表1 の添加物の基準 <u>による</u> 。 |
| | 容器又は包装の状 | 表1の容器又は包装の状態の基準 <u>による</u> 。 |
| | 態 | |
| | (削る。) | (削る。) |
| 削 | | |
| る。 | (削る。) | (削る。) |
| | | |
| | (削る。) | (削る。) |
| | | |

4.3 舌でつぶせる食品

舌でつぶせる食品の品質は、表3の品質基準に適合していなければならない。

表3-舌でつぶせる食品の品質基準

| | TO I CONCERNIANCE | | |
|----|-------------------|---|--|
| | <u>区分</u> 基準 | | |
| | 摂食時の内容物の | <u>次による。</u> | |
| 1 | 性状 | <u>a</u>) 一般に飲食に供される食品としての外観及び食味を有しているこ | |
| る。 | | と。 | |
| | | b) 付着性及び凝集性が適度であること。 | |
| | | <u>c</u>) 著しい離水がないこと。 | |
| | 摂食時の内容物の | <u>次による。</u> | |
| | 固さ | a) 内容物のうち <u>最も</u> 固いものについて <u></u> 舌と口蓋の間で押しつぶせ | |
| | | る程度であること。 | |
| | | b) <u>表1</u> の摂食時の内容物の固さの <u>b)</u> の基準 <u>による</u> 。 | |
| | 内容量 | 表1 の内容量の基準 <u>による</u> 。 | |
| | 添加物 | 表1 の添加物の基準 <u>による</u> 。 | |
| | 容器又は包装の状 | 麦1 の容器又は包装の状態の基準 <u>による</u> 。 | |
| | 態 | | |
| | (削る。) | (削る。) | |
| 削 | | | |
| る。 | (削る。) | (削る。) | |
| | | | |
| | (削る。) | (削る。) | |
| | | | |

4.4 かまなくてよい食品

かまなくてよい食品の品質は、表4の品質基準に適合していなければならない。

表4-かまなくてよい食品の品質基準

| 1 | | 2 前条の規格の摂食時の内容物の固さの2の基準と同じ。 |
|---|-----------|---|
| | 内容量 | 前条の規格の内容量の基準と同じ。 |
| | 添加物 | 前条の規格の添加物の基準と同じ。 |
| | 容器又は包装の状 | <u>前条の規格</u> の容器又は包装の状態の基準 <u>と同じ</u> 。 |
| | 態 | |
| 麦 | 表 示 事 項 | 前条の規格の表示事項の基準と同じ。ただし、「容易にかめる」とある |
| 示 | | のは、「歯ぐきでつぶせる」と読み替えるものとする。 |
| | 表 示 の 方 法 | 前条の規格の表示の方法の基準と同じ。ただし、「容易にかめる」とあ |
| | | るのは、「歯ぐきでつぶせる」と読み替えるものとする。 |
| | 表示の方式等 | 前条の規格の表示の方式等の基準と同じ。ただし、「容易にかめる」と |
| | | あるのは、「歯ぐきでつぶせる」と読み替えるものとする。 |

(舌でつぶせる食品の規格)

第5条 舌でつぶせる食品の規格は、次のとおりとする。

| | F /\ | ±+ 3/4: |
|----------|----------|---|
| | 区 分 | 基準 |
| 品 | 摂食時の内容物の | |
| <u>質</u> | 性状 | 1 一般に飲食に供される食品としての外観及び食味を有しているこ |
| | | と。 |
| | | 2 付着性及び凝集性が適度であること。 |
| | | 3 著しい離水がないこと。 |
| | 摂食時の内容物の | |
| | 固さ | <u>1</u> 内容物のうち <u>、最も</u> 固いものについて <u>、舌</u> と口蓋の間で押しつぶせ |
| | | る程度であること。 |
| | | <u>2</u> 第3条の規格の摂食時の内容物の固さの <u>2</u> の基準 <u>と同じ</u> 。 |
| | 内容量 | 第3条の規格の内容量の基準と同じ。 |
| | 添加物 | 第3条の規格の添加物の基準と同じ。 |
| | 容器又は包装の状 | 第3条の規格の容器又は包装の状態の基準と同じ。 |
| | 態 | |
| 麦 | 表示事項 | 第3条の規格の表示事項の基準と同じ。ただし、「容易にかめる」とあ |
| 示 | | るのは、「舌でつぶせる」と読み替えるものとする。 |
| | 表示の方法 | 第3条の規格の表示の方法の基準と同じ。ただし、「容易にかめる」と |
| | | あるのは、「舌でつぶせる」と読み替えるものとする。 |
| | 表示の方式等 | 第3条の規格の表示の方式等の基準と同じ。ただし、「容易にかめる」 |
| | | とあるのは、「舌でつぶせる」と読み替えるものとする。 |

(かまなくてよい食品の規格)

第6条 かまなくてよい食品の規格は、次のとおりとする。

| 区分 | | 基準 | |
|------------------------------------|----------|---|--|
| | 摂食時の内容物の | 次による。 | |
| | 性状 | a) 付着性及び凝集性が適度であること。 | |
| る。 | | b) 著しい離水がないこと。 | |
| _ | 摂食時の内容物の | 次による。 | |
| | 固さ | a) かまずに飲み込める程度であること。 | |
| | | b) <u>表1</u> の摂食時の内容物の固さの b) の基準 <u>による</u> 。 | |
| | 内容量 | 表1 の内容量の基準 <u>による</u> 。 | |
| 添加物 <u>表1</u> の添加物の基準 <u>による</u> 。 | | 表1 の添加物の基準 <u>による</u> 。 | |
| | 容器又は包装の状 | 表1 の容器又は包装の状態の基準 <u>による</u> 。 | |
| | 態 | | |
| | (削る。) | (削る。) | |
| 削 | | | |
| る。 | (削る。) | (削る。) | |
| _ | | | |
| | (削る。) | (削る。) | |
| | | | |

<u>5</u> 表示

5.1 容易にかめる食品

容易にかめる食品の表示の基準は、次による。

- a) 表示事項 表示事項については、次の事項を表示していなければならない。
- 1) 容易にかめる旨
- 2) 食品表示基準(平成27年内閣府令第10号)別表第19の上欄に掲げる食品(当該食品の項の中欄に掲げる表示事項に調理方法又は使用方法を含むものに限る。)以外の食品にあっては、調理方法[調理しないもの(単に温めるものを含む。)以外のものに限る。]
- 3) 業務用の製品にあっては、内容量又は固形量及び内容総量
 - **注記1** その他の表示事項については、食品表示基準の規定に従わなければならないとされている。
- b) 表示の方法 表示の方法については、次による。
- 1) **容易にかめる旨 "**容易にかめる"と表示しなければならない。
- 2) 調理方法 調理方法については、食品の特性に応じて表示しなければならない。
- 3) 内容量又は固形量及び内容総量 内容量又は固形量及び内容総量については、食品表示基準第 3条第1項の表の内容量又は固形量及び内容総量の項の下欄に定める表示の方法に従い表示しな ければならない。ただし、食品表示基準別表第4の上欄に掲げる食品のうち、当該食品の項の 中欄に掲げる表示事項に内容量を含むものにあっては、同項の下欄に定める表示の方法に従い 表示しなければならない。

<u>注記2</u> その他の表示の方法については、食品表示基準の規定に従わなければならないとされている。

c) 表示の方式等 表示の方式等については、容易にかめる旨、調理方法並びに内容量又は固形量及

| | 区 分 | 基 | 準 |
|--|---------------------------|---------------------|------------------------------|
| 品 | 摂食時の内容物の | | |
| 質 | 性状 | 1 付着性及び凝集性が適度であること。 | |
| | | 2 著しい離水がないこと。 | |
| 摂食時の内容物の | | | |
| | 固さ | 1 かまずに飲み込める程度であること。 | 0 |
| | | 2 第3条の規格の摂食時の内容物の固 | さの <u>2</u> の基準 <u>と同じ</u> 。 |
| 内容量第3条の規格の内容量の基準と同じ。添加物第3条の規格の添加物の基準と同じ。容器又は包装の状態の状態の基準と同態 | | 第3条の規格の内容量の基準と同じ。 | |
| | | 第3条の規格の添加物の基準と同じ。 | |
| | | 第3条の規格の容器又は包装の状態の基 | 準 <u>と同じ</u> 。 |
| | | | |
| 麦 | 表 示 事 項 | 第3条の規格の表示事項の基準と同じ。 | ただし、「容易にかめる」とあ |
| 示 | るのは、「かまなくてよい」と読み替えるものとする。 | | るものとする。 |
| 表 示 の 方 法 第3条の規格の表示の方法の基準と同じ。ただし、「名 | | 。ただし、「容易にかめる」と | |
| | | あるのは、「かまなくてよい」と読み替 | えるものとする。 |
| | 表示の方式等 | 第3条の規格の表示の方式等の基準と同 | じ。ただし、「容易にかめる」 |
| | | とあるのは、「かまなくてよい」と読み | 替えるものとする。 |

(新設)

び内容総量の表示は、容器又は包装の見やすい箇所(業務用の製品の場合にあっては、容器若しくは包装の見やすい箇所又は送り状)に表示していなければならない。

<u>注記3</u> その他の表示の方式等については、食品表示基準の規定に従わなければならないとされている。

5.2 歯ぐきでつぶせる食品

歯ぐきでつぶせる食品の表示の基準は、次による。

- **a)** 表示事項 表示事項については、5.1 a)による。ただし、 "容易にかめる" とあるのは "歯ぐきで つぶせる" と読み替えるものとする。
- **b)** 表示の方法 表示の方法については, **5.1**b)による。ただし, "容易にかめる"とあるのは"歯ぐきでつぶせる"と読み替えるものとする。
- c) 表示の方式等 表示の方式等については、5.1 c)による。ただし、 "容易にかめる" とあるのは"歯 ぐきでつぶせる" と読み替えるものとする。
- 5.3 舌でつぶせる食品

舌でつぶせる食品の表示の基準は、次による。

- **a)** 表示事項 表示事項については、5.1 a)による。ただし、 "容易にかめる" とあるのは "舌でつぶせる" と読み替えるものとする。
- **b)** 表示の方法 表示の方法については、5.1 b)による。ただし、"容易にかめる"とあるのは"舌でつぶせる"と読み替えるものとする。
- c) 表示の方式等 表示の方式等については、5.1 c)による。ただし、 "容易にかめる" とあるのは "舌 でつぶせる" と読み替えるものとする。
- 5.4 かまなくてよい食品

かまなくてよい食品の表示の基準は、次による。

- a) 表示事項 表示事項については、51a)による。ただし、 "容易にかめる" とあるのは "かまなくてよい" と読み替えるものとする。
- b) 表示の方法 表示の方法については、5.1 b)による。ただし、 "容易にかめる" とあるのは "かまなくてよい" と読み替えるものとする。
- c) 表示の方式等 表示の方式等については、5.1 c)による。ただし、 "容易にかめる" とあるのは "か まなくてよい" と読み替えるものとする。